

# 長崎新聞

県産紙宣言。  
12  
2009年 創刊120周年



長崎くんちが開幕。奉納踊りで曳壇尻を力強く引き回す新大工町  
11月7日午前8時27分、長崎市上西山町の諏訪神社

# 長崎くんち開幕

## 7踊り町「モッテコーイ」

370余年の伝統を誇る諏訪神社（長崎市上西山町）の秋の大祭、長崎くんちが7日、開幕した。同神社では早朝から奉納踊りがあり、詰め掛けた市民や観光客は、各踊り町の自慢の出し物に「モッテコーイ」「ショモイヤレ」の掛け声を上げた。長崎の街にはシャギリの音が鳴り響き、9日までくんちムードに包まれる。

長崎くんちは1634年から続く伝統行事。奉納踊りは、国の重要無形民俗文化財に指定されている。

今年7つの踊り町が登場。最初に新橋町が、オランダ万才をコミカルに演じ観客を沸かせた。続いて諏訪町が約120年の伝統を誇る龍踊りを披露し、計4体の龍が踊

発行所  
長崎新聞社  
〒852-8601  
長崎市茂里町3-1



電子号外



り馬場を乱舞。

新大工町は、春日大社（奈良市）の情景を表現した屋根飾りを持つ曳壇尻（ひきだんじり）を力強く引き回し、金屋町の2頭の獅子は、踊り馬場を駆け回り、祭りを盛り上げた。

榎津町は、激流に翻弄（ほんろう）されながら漁をする川船を表現。14年ぶりの登場となった西古川町は、相撲にちなんだ櫓（やぐら）太鼓と本踊りで復活をアピール。賑町は、大漁を目指し荒れる大海原を突き進む大漁万祝恵美須船（たいりようまんいらいえびすぶね）を奉納した。

午後1時からは、3基のみこしが同神社から同市元船町のお旅所に運ばれる「お下り」がある。

詳しくは  
8日付の  
長崎新聞で

購読申し込み

0120-374673

HP 龍～なが

www.nagasaki-np.co.jp